

ホンジュラス定期報告（２０２６年６月）

２０２６年７月

在ホンジュラス日本国大使館

<概要>

- アスフラ大統領およびアグエロ外相がドイツ、ウクライナ及びパナマを訪問した。ウクライナではアスフラ大統領らはゼレンスキー大統領と会談し、また、パナマではムリーノ・パナマ大統領と会談した。
- ホンジュラス政府とＩＭＦ調査団長が技術的合意を結び、拡張クレジット・ファシリティ（ＥＣＦ）および拡大信用供与措置（ＥＦＦ）の第４回及び第５回見直しを完了した。

<本文>

１ 内政・経済

（１）対中貿易赤字の増加傾向

６月２６日国内主要紙は、対中貿易赤字について２０２６年４月時点で、年間累積赤字はすでに１０億２，６９０万ドルに達し、月平均で２億５，６００万ドルとなっており、中国との深刻な貿易不均衡が明らかになっていると報じた。ホンジュラスの対中輸入は２０２５年に３１億８，６１０万ドルで、同年の総輸入額の１５．６％に相当しており、年々増加傾向にあるとしている。

（２）米国最高裁のＴＰＳ破棄支持に対するホンジュラスの反応

６月２６日付国内主要紙は、米政権によるシリア、ハイチ人への一時身分保証（ＴＰＳ）破棄の是非を問う米最高裁判決において、政府が同破棄の裁量を有することへの支持判決が出たことを受けて、ホンジュラス政府として米国土安全保障省に対して緊急に面会を要請しているものの返答がないとするフローレス駐米大使の発言を報じた。

（３）政権発足後初めてのＩＭＦとの合意

６月２９日、ホンジュラス政府とＩＭＦ調査団長が技術的合意を結び、拡張クレジット・ファシリティ（ＥＣＦ）および拡大信用供与措置（ＥＦＦ）の第４回及び第５回見直しを完了した。これにより、同国は２億４，５００万ドルのクレジット枠を受けられるようになった。

（４）エルナンデス元大統領の帰国可能性

６月２９日、最高裁は８月３日に審理開始予定のパンドラⅡ汚職事件の被告となっているエルナンデス元大統領（国民党）の逮捕状を一時的に停止した。これにより、エルナンデス元大統領の自発的帰国の可能性が出た。エルナンデス元大統領もビデオ通話で７月３１日の帰国を表明した。

2 外交

（１）アスフラ大統領のドイツ、ウクライナ、パナマ訪問

アスフラ大統領およびアグエロ外相が欧州及びパナマを訪問した。６月１７日にアスフラ大統領らはドイツでエイドリアン（Peter Adrian）ドイツ商工会議所（D I H K）会頭らと会談を実施した。１９日にはウクライナを訪問し、アスフラ大統領らはゼレンスキー大統領と会談し、両国が共通の議題で進展を遂げ、今後、さまざまな戦略分野で協力を深めることが可能になるとした。その後、２１日にはパナマを訪問し、ムリーノ・パナマ大統領と会談した。会談では地域の連携を強化し、地域の平和・自由・発展、自国の経済と地域内貿易の活性化など二国間関係を強化し、中米諸国の更なる統合を進めることで合意した。

（２）コロンビア次期大統領への祝意

６月２３日、アスフラ大統領とホンジュラス外務・国際協力省は公式ＳＮＳにおいて、選挙に当選したデ・ラ・エスプリエジャ次期大統領に祝意を述べた。

（３）ペルー次期大統領への祝意

６月３０日、アスフラ大統領は自身のＳＮＳにおいてケイコ・フジモリ・ペルー次期大統領のペルー大統領選挙での勝利に祝意を表した。

＜主要経済指標＞

◇主要経済指標	2025 年	2026 年		
		2 月	3 月	4 月
インフレ率（前年同月比）	4.96	3.46	3.94	5.56
貿易収支（百万ドル）	▲6,234.7	—	—	—
輸出（百万ドル）	12,227.2	—	—	—
輸入（百万ドル）	18,461.9	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	10,219.1	10,703.1	11,152.7	11,596.0
外国からの送金（百万ドル）	11,904.4	—	—	—
為替レート（対ドル月平均）	26.48	26.61	26.65	26.70

（出典：ホンジュラス中央銀行）

（了）